

今月号の紙面

令和6年度東京都予算の概要 2面
地域団体からの活動報告
工団連・事務局からのご挨拶 3面
工団連事業・研修・会議等案内
東京ビッグサイトイベント案内
令和5年度会長表彰受賞者・来賓名簿 4面
東京都中小企業団体中央会事業告知

工団連

発行所

一般社団法人 東京工業団体連合会
東京都中央区銀座2-10-18
東京都中小企業会館5階
電話 (03) 3546-2525
FAX (03) 3546-2853
(購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)
<https://www.tokyo-koudanren.or.jp>

東京工団連

令和5年度会長表彰・賀詞交換会

「記念演奏会」「記念祝賀会」など盛大に開催

永年勤続者54名を表彰

東京工団連会長表彰式典が、1月25日に銀座ブロッサム中央会館において開催された。表彰対象は、団体役員表彰1名、従業員表彰51名、団体職員表彰2名の計54名で、受賞者にはその功績を称え、廣瀬隆博会長から表彰状と記念品が贈られた。(受賞者名簿は4面)

【第1部】 記念式典・表彰式

式典は鍵谷副会長の開会の辞で始まり、片平副会長が選考経過を説明。受賞者名の読上げに続き、廣瀬会長より当日出席した地域の工業団体役員・従業員・団体職員の方々にそれぞれ賞状・記念品が授与された。

その後廣瀬会長より式辞が述べられた。会長は「初めに受賞者に対して性理解しものづくりの維持発展への一層の努力をなすこと、今後とも益々の研鑽と健康への留意で、地域や企業の発展に尽力して欲しい」と呼びかけ、更に「今後とも京の中小ものづくり企業、域のものづくり企業での永年の努力と功績を称え、更に都内のものづくり中小企業を取り巻く環境にふれ、コロナ禍は終わりを迎えたものの、人材確保や事業承継等様々な課題が顕在化し、

令和5年度 東京工団連 会長表彰式

(一社)東京工業団体連合会



廣瀬会長式辞



表彰状授与



表彰式典

氏(渋谷区工業協会)が「これまでの自身の活動の振り返りと会社からの助力への感謝、今後さらに精進し業界や地域社会の発展に寄与していきたい」と謝辞を述べ、式典は廣瀬副会長の閉会の辞をもって終了した。

その後受賞者は記念撮影を行い記念演奏会へと移動した。

【第2部】
記念演奏会

3種類の楽器を駆使し奏でるカルテットの軽快かつ優雅な演奏に会場ははじけ、その魅力に引き込まれた。

1時間に亘る演奏会では、クラシック、シネマミュージックやアニメソング、人気のポピュラーソングまで全15曲の熱演に盛り上がりの中終りを迎えた。

引き続き、片平副会長の乾杯の音頭で開宴、来賓と各受賞者、地域団体会長や工団連役員が新年に当たり和やかに歓談した。

その後しばしの歓談の後、パーティーは鍵谷副会長の締めくくりにより盛会のうちに終了した。

(来賓一覧は4面に掲載)

記念祝賀会・新年賀詞交換会は会場を「ジャズミン」に移し4時30分より多数の来賓・会員・受賞者の参加のもと盛大に挙行された。

廣瀬副会長の開宴の辞に引き続き廣瀬会長が再度挨拶し、はじめに「表彰式典と記念式典が無事終了し54名が受賞したことを報告。改めて「受賞者へのお祝い」とこれまでの、東京都議会、東京都ならびに関係団体・関係諸氏のご理解とご協力に厚くお礼を述べた」。

また、「我々を取り巻く環境は5類への移行に伴う行動制限の解除や輸出関連産業、観光産業を中心とし全体として緩やかな回復基調にある」としてが、一方で「世界的なインフレや円安の影響などでエネルギー・原材料の高騰、賃上げ圧力の高まり等中小企業は極めて厳しい環境下にある」とした。こうした環



早川八十郎 東京都産業労働局総務部長



祝辞を述べる宇田川 聡史 都議会議長

島地震の被災者へのお見舞いを述べた。

東京都は震災直後より支援を開始しておられ、今後も可能な限りの応援をしたいと続けた。更に景気の現状にも触れ「昨年の5類への移行後、景気の良い話も聞こえてくるが地元・中小企業にとっては原材料価格の高騰、人件費の上昇による人材不足等厳しい状況が継続している」とし、「これからも中小企業振興に向けた予算策定で支援を継続する」と述べた。最後に工団連と本日晴れの受賞を受けた参加者へ祝意が述べられ、今後も中小企業をしっかりとサポートするとの力強い言葉を戴いた。

次いで東京都を代表して東京都産業労働局長の代理として産業労働局総務部長早川八十氏よりご挨拶を戴いた。氏は初めに、都内ものづくり中小企業団体としての工団連の日頃の活動に謝意を表した。更に「昨年の5類移行後も都内の中小企業を取り巻く環境は依然として先が見通せない状況が続いている」と述べた。

続けて「東京の経済を成長軌道の乗せてゆくためにはものづくり中小企業の持続的発展が重要」とし、「生産性向上により収益を確保し従業員の収入アップの後押しや適正な価格による取引の実現に向けた支援を述べた」。

加えて「脱炭素化に向けた商品開発やデジタル技術導入支援サポートなど新たなチャレンジを後押しする」とし「こうした支援策をしっかりと活用し成長の糧として欲しい」と訴え、挨拶の最後に「今後も引き続きの積極的な活動の推進と都施策推進への協力」を求めた。

その後、ご多忙の中出席くださった都議会自民党の先生方始め東京都並びに関係機関・団体のご来賓のご紹介が行われた。

記念パーティー・新年賀詞交換会

引き続き、片平副会長の乾杯の音頭で開宴、来賓と各受賞者、地域団体会長や工団連役員が新年に当たり和やかに歓談した。

その後しばしの歓談の後、パーティーは鍵谷副会長の締めくくりにより盛会のうちに終了した。

(来賓一覧は4面に掲載)

令和6年度 東京都予算の概要

東京都は1月26日に令和6年度予算原案を発表。今回の、一般会計の予算規模は8兆4,530億円（前年度当初予算比+4,120億円+5.1%）、政策的経費である一般歳出は6兆3,702億円（前年度当初予算比+4,348億円+7.3%）で過去最大の予算となった。



小池知事への令和6年度予算等要望の様子

予算案の編成方針を、
「変化する社会情勢の中、東京・日本の輝かしい未来を切り拓くため、産業や経済、社会の構造転換に挑み、一人ひとりが輝く明るい『未来の東京』を実現する予算」と位置付け、次の点を基本に編成されたとしている。

①東京が日本の成長・発展を牽引し、持続可能な都市へと発展するため「人」が輝く、「国際競争力の強化」、「安全・安心」の観点から都市力を磨き抜く大胆な施策を積極的に展開すること。

②都民が実感できるクオリティ・オブ・サービス向上のため、デジタルによるサービス改革

また予算を、施策展開の観点から見ると、『国内外には過大が山積しており様々な分野で戦後最大の試験を迎えている』として、『歴史的転換点に立つ今こそ、これら試験に正面から立ち向かい「東京が新たな価値を生み出す都市へと進化すべく果敢に挑戦してゆく」とし、予算を「チルドレンファースト社会の実現、都市の強靱化、脱炭素社会の実現に向けた取組」など『未来への投資』に大胆に振り向け、加えて「都政のQOS（クオリティ・オブ・サービス）を飛躍的に高めてゆく」としている。特に、「東京から少子化に歯止めをかけるため」約1・6兆円（対前年+2,000億円）計上しているのが「育児・介護との両立のためのテレワーク導入促進事業」（4億円）
「女性チャレンジ支援（女性ITエンジニア育成事業）」（3億円）
「働く女性への総合サポート事業」（4億円）
「フアンドを活用した女性活躍推進に向けたスタートアップ支援（40億円）」
「女性・若者・シニア創業サポート2.0」（29億円）
「誰もが優しさを感じられる社会」
「キャリアチェンジ再就職支援事業」（30億円）
「中小企業支援による経済の活性化」
「DX推進事業（26億円）」
「サーチファンドを活用した中小企業の事業継支援（20億円）」
「新たな事業環境に即応した経営展開サポート事業」（53億円）
「5Gによる製造工場DX・GX事業推進」（6億円）
「再生可能エネルギーの実装加速化」
「蓄電池等の分散型エネルギーをを活用したアグリゲーションビジネス支援事業（23億円）」
「省エネルギーの最大化（中堅・中小企業のサブライチェーンにおける脱炭素化促進支援事業（6億円）」
「中小規模事業所のゼロエミッションビル化支援事業（6億円）」等
他にも農林水産・観光などで計上されている。
『一般歳出の分野別の予算は次のとおり』
■福祉と保健

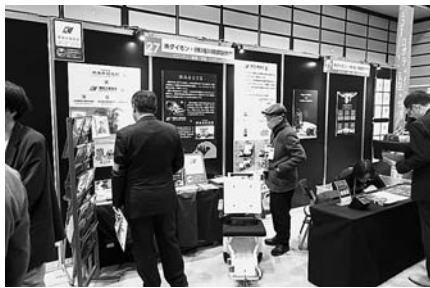
【1兆6,105億円】（対前年比+4.7%）
【教育と文化】（1兆3,983億円）（対前年比+16.7%）
【労働と経済】（7,114億円）（対前年比+2.2%）
【生活環境】（3,448億円）（対前年比+7.6%）
【都市の整備】（9,141億円）（対前年比+2.6%）
【警察と消防】（9,616億円）（対前年比+4.3%）
【企画・総務】（4,295億円）（対前年比+16.2%）
また、工団連の予算要望に対しては、1月25日に東京都（知事）から廣瀬会長に連年事項も含めて回答があった。工団連の基本要望事項『経済活動正常化に向けた各種支援・受注機会の確保』に対する回答は次の通り。
【主な関連事項の要望と回答】
■【要望】現下の経営課題への各種支援
【回答】新たな事業環境に即応した経営展開サポート事業、取引改善指導等
約2,920億円
■【要望】中小製造業の事業継続と取引拡大
【回答】3・4億円（令和4年度補正計上）
■【要望】ものづくり人材の確保と育成
【回答】6・3億円
■【要望】中小製造業のネットワーク強化

地域団体からの活動報告

【回答】地域工業連携強化支援事業0・5億円（同額）
（火）3月28日（木）まで開催

地域会員団体が「ものづくり基盤技術強化支援事業」補助金を活用し活発に活動を展開。

工団連加盟の地域団体が「展示会」に出展し活発な活動を紹介する。
（一社）大田工業連合会所属の青年部会企業7社が2月7日～9日の3日間「テクニカルショウヨコハマ2024」に共同出展しPR活動を展開した。昨年は「Meet New」で開催された大規模工業見本市であり、3日間の期間中は専門の外部の集客専門スタッフを配置し、臨機応変に呼び込み・接客を行っていた。テクニカルショウヨコハマは規模感、来場者の積極性などから最適の展示会の1つと評価しており今後の成果を期待したい。



蒲田工業協会展示ブース



大田工連共同展示ブース

また、同じく大田工連傘下の蒲田工業協会が2月9日「Meet New Solution In Ota 2024」に出展した。同展は従来開催していた「大田工業フェア」に代わるもので特に今回は他区や他県等からの参加も多くあり規模感も拡大したものととなった。

同展はパシフィコ横浜で開催された大規模工業見本市であり、3日間の期間中は専門の外部の集客専門スタッフを配置し、臨機応変に呼び込み・接客を行っていた。テクニカルショウヨコハマは規模感、来場者の積極性などから最適の展示会の1つと評価しており今後の成果を期待したい。

工団連と地域会員団体 共催講演会開催のご報告



世工振共催講演会風景

工団連では今年度も、地域会員団体との共催で研修・セミナーを開催。以下、年明けに開催された講演会について報告する。

（公社）世田谷工業振興協会は昨年11月9日に開催した「2023年度環境経営と企業力改善セミナー」にニューノーマル

「ものづくりの挑戦」という新たな視点も加え情報集約・発信等の活動を展開した。

コロナ禍の影響もあり現在、多くの会員企業が経営に苦慮している中、今後もイベントの積極的な活用によるPR活動継続意向を示しており今後とも積極的に支援したい。

また、今後の活動予定としては、2月29日～3月2日『第17回としまMONOづくりメッセ』の開催が予定されている。本展には例年どおり（一社）豊島産業協会が会員企業7社（団体）と事務局、また（一社）練馬産業連合会も会員企業

5社と事務局がものづくり基盤技術強化支援事業の補助金を活用し出展しPR活動を予定している。同展もコロナ禍の影響により開催が中止されていたが令和5年2月より再開した。

更には、（一社）板橋産業連合会でも2～3月にかけて会員企業を対象とした「IT化推進支援の技術セミナー」開催を予定している。本セミナーは外部の専門講師により9回の講座を開講し3DCAMソフトを用いて切削加工技術の習得を目指すもの。

会員企業の営業促進ツールとしての活用と成果

熱気あふれる会場は予定の1時間30分をオーバーする講演に参加した140名余聴講者は時間も忘れ熱心に聴き入っていた。

同氏の講演会は1昨年度に引続き3年目となるが、寺島先生は世田谷区在住者として特別の機会を提供いただいている。区民としての立場・目線も含め演壇に立っている。区民として、国際的な紛争・国内での政治的混乱に加えて大規模災害の発生と激動の時代に、あらためて国内外の社会の変化を考える機会となった。

を期待したい。

この数年、多くの企業で活動場面に制限される中、参加に向けて準備を進めており会員企業各社の成果が期待されることである。

昨年5月に5類への移行を迎えたコロナ禍であるが、これまでの活動停滞を取り戻すべく、工団連では来年度も引き続き「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を柱として地域団体・会員企業への支援を継続していくので積極的な活用をお願いしたい。

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館6階 電話 03(6278)7936 FAX 03(6278)7545